

# 住民福祉



高齢化が進み、二十一世紀初頭には、本格的な長寿社会を迎えることが予想されます。実態に即した施設入所の措置、寝たきり老人介護報酬金の支給、地域ケアシステムの推進、家庭奉仕員の派遣、ショートステイ事業等各種の在宅福祉サービスの充実と福祉のまちづくり事業の老人のしあわせの里づくり事業を積

極的に推進する中で活力ある長寿社会を築いて参ります。また、市民や各種団体の積極的な参加のもとに地域のニーズにあつたきめ細かな社会福祉施策を企画立案し、総合的、体系的に事業を実施し、地域ぐるみの福祉事業の推進を図って参る所存であります。

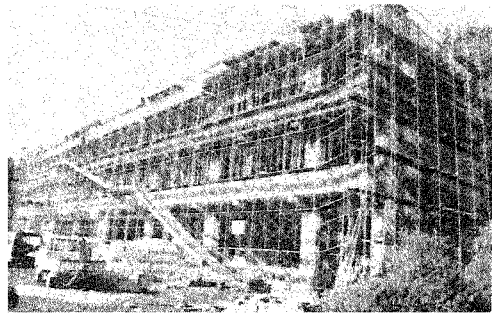
労働対策の一環として、シルバー人材センターを設立し高齢化社会への対応をしているところではありますが、新年度には、対象地域を都留・大月・上野原の二市一町に広げ事業の広域化を検討しております。

また、高齢者雇用奨励事業の充実を図り、期間の延長、奨励金の増額を検討し、高齢化社会を迎えての雇用の安定を図って参りたく考えております。

## 教育文化の向上

文教都市をめざしております本市にとって、教育環境の整備は重要な施策であります。自然に恵まれ、小学校から

大学までの教育機関を擁する地域の特性を生かした教育を積極的に推進すべきであると考えます。



義務教育施設につきましては、まもなく完成する文大附属小学校をもって全小中学校が不燃化建築を完成することになります。

今後も施設整備を積極的に進めるとともに教育設備の充実に努力して参ります。

本年四月から県内二高校に英語科が設置されるうちの二校に、桂高等学校が指定され英語教育に大きな成果があらんと期待しておりますが、都留市でも中学生をはじめ、市民の皆様が生きた英語を習得することができるよう教育委員会に外国人英語指導助手を招致いたします。国際化社会を迎え、これからの市民には、豊かな国際性

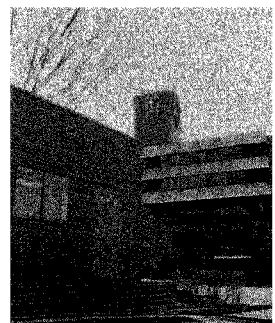
を身につけ、国際理解教育や語学教育の充実に努めていくことは将来の都留市発展のため大事なことだと思っております。また、四月には姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州ヘンダーソンビル市から市長さんご夫妻をはじめ、公式訪問団が来市を予定しております。姉妹都市関係を通じての交流も積極的にを行い、実践をとおして国際化を図って参りたいと存じます。

文教都市の中心をなす都留文科大学につきましては、昨年設置した社会学科も順調なスタートの中で、そのユニークさは、内外から高い評価を受けております。

二年目を迎える本年は、更に教育内容の充実強化をはかりながら、推進して参りたいと考えております。

施設整備の面では、従前の講義棟に加え、本年から二カ年の継続事業として特色をもつ新講義棟を計画いたしております。また、各専門分野の充実のなかで、美術研究棟の増築も六十三年度で計画いたしております。

一方、社会学科の三年次で開講を予定いたしております諸資格(社会教育主事・博物館学芸員・図書館司書)の取



得が既存の三学科四年生を対象に一年繰り上げ開講し資格取得の道を開き、幅広い人材養成に努めて参ります。

さらに、開かれた大学として、公開講座、共同研究活動諸行事参加等を通して、積極的に市民の皆様との深い係わりをもちながら、「市民の大学」として、また「地域に役立つ大学」として歩む所存でございます。

文化の面におきましても、経済優先の時代から人間優先の時代を迎えた現代、生活や文化をより高めながら、うるおいや、落ち着きを求めていくことも大切になってきております。

このため、日常的な文化活動の活性化を図るため、文化的活動機会の拡大、文化情報の提供、団体、グループの育成を図るとともに産業面をも含めた文化活動の拠点となる総合会館としての施設の整備、確保に努めて参る所存であります。